下都賀地区生涯学習研究会機関紙
ねっとわーく
# Network
第57号
令和3年3月発行

ユウガオの実
画像は「地域の力を生かした『ユウガオ』学習」（石橋北小）より

## Smile お届け特別号

会員の皆様にとって、今年度はどのような１年だったでしょうか。新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染拡大という未曾有の事態に直面し、子どもたちの学びは様々な制限の中で行われることになりました。

和蔵会による和太鼓の指導（栃木南中）

こうした中でも、子どもたちの生涯にわたり自発的に学習する基盤を培うため、学ぶ楽しさや人と関わり合う心地よさが味わえるふれあい学習を、学校と地域が連携・協働して展開してきました。今号でも、活動の中で見ることができた心温まる場面を、写真と簡単な文章で紹介してまいります。

### 退任にあたって「会員へのメッセージ」

## ガンバレ！ 社会教育主事（有資格者）

下都賀地区生涯学習研究会　会長
栃木市立栃木西中学校　校長　小林　勇夫

退任にあたり一言ごあいさつ申し上げます。

昨年３月２日、急遽、学校の一斉休業が実施されました。初めてのことで、戸惑いや不安があったことを覚えています。その後、本研究会の総会や研修会は中止や縮小を余儀なくされ、会員の皆様の研修の機会を制限することになってしまったと申し訳なく思っています。また、酒を酌み交わしながら社会教育についての話をすることができなくなって、１年が過ぎました。そこでの刺激やネットワークづくりがとても大切なことと考えておりますので、とても残念でなりません。このことにより、会員の皆様の資質向上はもとより、社会教育・生涯学習の推進が滞ってしまっているのではないかと心配しています。

そんな中、会員の皆様が頑張っているとお聞きしています。社会が多様化・複雑化し、高度情報化による知識基盤型社会が進展しています。「生きる力」を育むため、社会教育主事（有資格者）として、多様な視点や柔軟な発想により、できることを実践している素晴らしい皆様にエールを送ります。これからも、その思い、熱意を大切にしていってください。新型コロナウイルス感染症が早く収束し、以前より増して充実した活動ができることを願っています。

最後に、本研究会のさらなる発展と会員皆様のますますのご健勝を祈念申し上げます。ありがとうございました。

### Snap Shot　～笑顔があふれたその瞬間～

## Smile⑦「大成功！子ども未来活動（ハロウィン会）」

下都賀地区生涯学習研究会　広報委員
小山市立小山第一小学校　教諭　鈴木　衣久子

今年度は、児童や保護者、地域の方々の安全・安心を考えると、様々な行事を中止もしくは縮小せざるを得ませんでした。地域の方々とふれあう機会は少なくなりましたが、子どもたちを想う地域の方々のあたたかさを感じた１年でした。

本校は、毎年６月と１１月の土曜日にPTA主催の「子ども未来活動」を行っています。これは保護者や地域の方々から間々田紐作り・ニュースポーツ・餅つきなどの伝統文化を学ぶ活動です。

今年度は、PTAの企画のもと、御殿町商店会の協力をいただき、「子ども未来活動（ハロウィン会）」を行いました。コロナ禍だからと諦めるのではなく、子どもたちのためにどうすれば実施できるのかと考え、例年とは違う活動内容に決めました。１年生から６年生が少人数の縦割り班になり、商店など９か所を仮装して回り、お菓子をいただきました。登下校とは違った形で歩くことにより、新しい発見もありました。地域の方々に見守られながら、楽しいひとときを過ごすことができました。